

「岡山大学病院におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の動向に関する後ろ向き研究」 -平成 25 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日に当院にて、細菌検査をされた方へ-

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
社会環境生命科学専攻総合社会医学講座 総合内科学分野

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻総合社会医学講座
総合内科学分野 教授 大塚 文男

研究分担者 岡山大学病院 感染症内科 教授 草野 展周
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
岡山県北西部(新見)総合診療医学講座 准教授 花山 宜久
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
瀬戸内(まるとめ)総合診療医学講座 准教授 萩谷 英大
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻総合社会医学講座 総合内科学
分野 大学院生(医師) 大重 和樹
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
瀬戸内(まるとめ)総合診療医学講座 助教 山本 晃
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病原細菌学分野 助教 後藤 和義
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病原細菌学分野 教授 松下 治

1. 研究の意義と目的

多剤耐性菌が臨床現場を脅かす時代となり、各病院は対策に日々追われています。

感染症治療において抗菌薬は重要な役割を担っています。中でもカルバペネム系抗菌薬はグラム陰性桿菌などの細菌に対して広域な抗菌作用を有しているため、重症患者や起炎菌が判明する前の患者様に使われることが多い抗菌薬です。このカルバペネム系抗菌薬に耐性を持つ、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌は本邦を含む世界各地で報告されており、大きな問題と考えられています。

当院では平成 26 年 3 月に *Klebsiella oxytoca* という細菌でカルバペネム耐性が初めて確認されました。そのため当院において、このカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の動向を調査する必要があると考えました。

2. 研究の方法

1) 研究対象者：

平成 25 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日までの期間に岡山大学病院にて細菌検査をされた患者様 15 万人

2) 調査期間：

平成 28 年 1 月倫理委員会承認日から令和 3 年 3 月 31 日まで

3) 研究方法：

平成 25 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日までの期間に岡山大学病院にて、細菌検査をされた患者

様から分離された細菌から腸内細菌科細菌(*E. coli**, *K. pneumonia**, *K. oxytoca**, *Proteus spp**, *Enterobacter spp**, *Citrobacter**, *Serratia spp**)を抽出し、どういった抗菌薬が有効かを調べます。また分離された菌の遺伝子情報を分析し、薬剤耐性遺伝子の同定や菌同士の関連性などを読み解きます。

*いずれも人の腸の中に存在する菌です。時として感染症を起こすことがあります。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、患者様の個人情報には匿名化し、漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年齢、性別
- ・最終診断、各種培養検査の検体・検体採取日・細菌名・薬剤感受性試験、治療内容

5) 情報の保護

調査情報は岡山大学病院総合内科学内で厳重に取り扱います。電子情報の場合は、すべて連結不可能匿名化として扱い、パスワードなどで制御されたコンピュータで保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

調査結果は個人を特定できない形で、関連の学会および論文・インターネットにて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。また、ご自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、令和1年10月30日までの間に下記の連絡先までお申出ください。期日以降に拒否された場合は、個人情報は連結不可能匿名化しておりますので、研究対象から外れることはできません。研究から外れていただいた場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 総合内科・総合診療科

氏名：花山 宜久

電話：086-235-7342 FAX：086-235-7345